

The Journal of Global Studies

ICHINOMIYA NISHI SHS NOV.2022

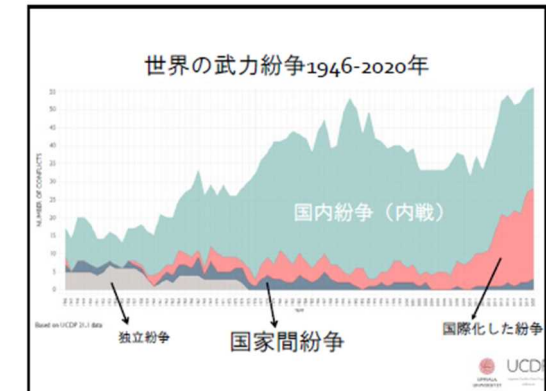
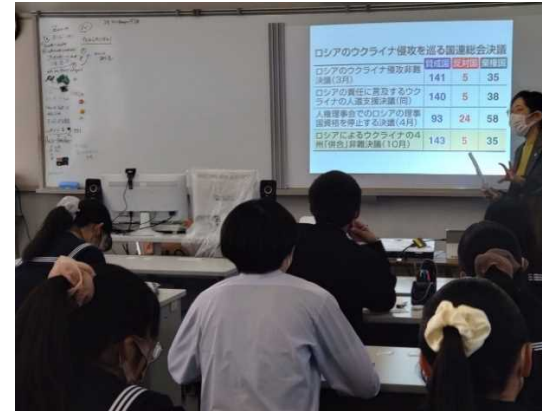
10月27日(木) 第二回国際理解講話 「紛争のない世界のための国際協力」 同志社大学グローバルスタディーズ 西川由紀子先生

6月に卒業生で外務省職員の高丸さんから、第一回国際理解講話「ウクライナ戦争と外務省の仕事」をお聴きました。それから4か月余りが経ちましたが、まだまだウクライナ戦争は続いています。第二回国際理解講話では、同志社大学グローバルスタディーズ研究科博士課程教授の西川由紀子先生から、「紛争のない世界のための国際協力」についてお話を頂きました。講義後には活発な質疑応答が行われ、これまでの学びが活かされました。

《講話の内容》

- 私たちの時代の紛争と戦争
 - …「戦争」の概念の変化、戦争や紛争をもたらす問題
- 戦争と武力行使のない世界のための国際的取り決め
 - …ウエストファリア条約、ケロッグ＝ブリアン協定、国際連合憲章
- 子ども兵士の問題
 - …子どもが兵士になる背景、子ども兵士からの解放
- 国内紛争(内戦)と国際連合憲章の限界
- 質疑応答(以下は生徒から出た質問の一部)
 - ・ 紛争の解決、終戦の方法にはどんなものがあるのか。
 - ・ 国連憲章の「平和に対する脅威、平和の破壊および侵略行為に関する行動」について、基準はあるのか。
 - ・ なぜ安全保障理事会の常任理事国に拒否権がつけられたのか。
 - ・ 独立、領土の割譲・併合などの国際的な基準は何か。
 - ・ ロシアはなぜ戦争にふみきることができたのか。
 - ・ NATO のミサイルはバルト三国からでも届くはずなのに、ロシアはなぜウクライナにこだわるのか。
 - ・ 国連の機関で働くにはどうしたらよいか。

一宮西高校国際理解コースは、英語を学ぶモチベーションを上げ、様々な国や世界の問題についての視野を広げるための特色ある行事を実施しています。コロナ禍が続く中でもできることは増やせます。興味をもってくれた皆さん、お待ちしております！



《5期生の感想の一部》

- ・ 17世紀頃から戦争をしないための枠組がつけられてきて、「今」があるのだと知った。
- ・ ウクライナ戦争や、台湾の歴史をコースの設定科目で学んできた。その上で、今回は戦争や紛争の原因、国連の現状や課題を学ぶことができたので、より関心が高まった。「戦争反対!」という思いを持つだけでなく、争いの原因やその国の今後を冷静に見つめる力も大切だと思った。
- ・ 問題を解決するために作りたい法律があっても、現在存在する法律との間に矛盾が生じてしまうことがあることがわかった。その打開策は、未来を担う私たちが考えていく必要があるのだと感じた。
- ・ 紛争は隣国にも影響を与える。日本にとっても、無縁の問題ではないと思った。
- ・ 紛争や戦争による影響で様々な悪循環があることを知って、考えさせられた。同世代の子どもが兵士となって戦場で戦っているのは、未だに想像がつかない…。
- ・ 西川先生のお話は自分の将来の夢に当てはまるものだったので、よい経験になった。また、学校の世界史や国際英語の授業の知識と繋がり、楽しく聞くことができた。
- ・ 英語はコミュニケーションツールとしても、情報をより多く得るためにも必要。もっと英語を頑張りたいと思った。
- ・ 国際連合の機関についても詳しくお話をしてもらったので、そういう将来の選択しもありだと思った!
- ・ いろいろなことに疑問をもつということが、行動をするきっかけになるのだと思った。